

## 助成金・セミナー情報

他にも多くの助成金やセミナーがあります。詳しくはメイトム宗像のホームページ(その他リンク一覧)をご覧ください。窓口でのご相談も受け付けています。

メイトム宗像 検索

### 助成金 自然・環境分野

- **コンサベーション・アライアンス・ジャパン** 自然環境保護基金プログラム  
【対象】自然環境を保護しているグループ  
【募集期間】～2015年2月15日  
【問合せ】コンサベーション・アライアンス・ジャパン  
TEL: 042-944-5855 FAX: 042-944-5825

### 助成金 スポーツ分野

- **公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団** 助成金  
【対象】青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励または自ら行い、かつ3年以上継続して活動している、規定の要件を満たした団体  
【募集期間】～2014年6月30日  
【問合せ】公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団 事務局  
TEL: 03-3839-7195 FAX: 03-3839-7196 E-mail: zaidan@yonex.co.jp

### 助成金 子ども・教育分野

- **子どもゆめ基金助成金** 体験活動・読書活動共通  
【対象】子どもの健全な育成を目的に子どもの体験活動や読書活動の振興に取り組む団体  
【募集期間】二次募集 2014年5月1日～2014年6月23日  
【問合せ】子どもゆめ基金フリーダイヤル 0120-579-081 (平日 9:00～17:45)  
TEL: 03-5790-8117, 8118 (子どもゆめ基金)  
FAX: 03-6407-7720 E-mail: yume@niye.go.jp

### 助成金 ボランティア活動全般

- **第11回九州ろうきん「NPO助成」**  
【対象】九州ろうきんの営業エリア内において事業活動が行われ、特定非営利活動促進法で認証された20分野に係わる団体  
【募集期間】2014年5月12日～6月13日  
【問合せ】九州ろうきん 福岡県本部「NPO助成」係  
TEL: 092-714-7143

### セミナー 聴達講座

- 【日時】2014年6月1日(日)10時半～13時  
【場所】福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」  
【定員】20人(先着順)最少催行人数4人  
【会費】5400円(資料代+検定料)  
【問合せ】(特活)日本ソーシャルコーチ協会 070-5417-4041(担当 福岡)  
※講座終了後、「聴達3級」の検定試験を実施し、当日聴達3級の認定証を発行します。  
※講座のみの参加も可能です。お申し込み時に聴達検定より「講座のみ」を選択してください。

### セミナー 子どもの体験活動支援者等セミナー

- 青少年の体験活動支援等に関する研修を行い、支援者としての資質・能力の向上を図る。  
【日時】6月17日(火)10時～(終日)  
【対象】青少年教育関係者、学校関係者、行政関係者等

### セミナー 学校・家庭・地域の連携推進セミナー

- 「地域の教育力向上」に関する研修を行い、支援者としての資質・能力の向上を図る。  
【日時】6月27日(金)、10月、12月(終日)  
【対象】行政関係者、学校関係者、地域活動者、その他関心のある人

### セミナー 広報力アップ実践講座

- 社会教育事業の周知に必要な広報のあり方についてスキルアップを図る研修を行う。  
【日時】7月中旬  
【対象】行政関係職員 その他関心のある人  
※上記3件の【問合せ】福岡県社会教育総合センター TEL092-947-3511

## むなかた NPO ボランティア情報紙



テーマ 「人」  
何が人をつなぐのか、  
を考える。

### お知らせ

「ふらぐ」は「メイトムニュース」をリニューアルした情報紙です。

今月号から「ふらぐ」がスタートします。NPO・ボランティア・市民活動の実践者を対象とした情報紙として、活動に役立つ情報をお伝えします。今月は「人」がテーマ。「何が人をつなぐのか」を考えていきます。人をつなぎ、活動を広げている事例、助成金やセミナー情報を紹介します。



「新しい人が入ってこない・・・」「団体の運営を任せる人がいない・・・」など「ひと」についての課題を抱える市民活動団体は多いことでしょう。  
この問題をクリアにし、活動するメンバーの入れ替わりが激しい育児期の母親が中心になって活動をしている団体があります。今回はその団体から「人」について探ってみました。



すこやかライフサポーターは、女性の健康増進を目的として活動を続けて7年。近年では特に育児期女性を対象としたバランスボール講座を毎月開講し、満員御礼になることもあり、活動が定着しています。

## 知ってますか？

## 市民活動・NPO ボランティアセンター

メイトム宗像は市民活動の拠点として、情報コーナーや印刷室、無料の打合せスペースなど、活動に便利な設備が充実しています。その中にある「市民活動・NPO ボランティアセンター」。ここには市民活動の情報がたくさんあり、中間支援組織「むなかた市民フォーラム」と宗像市社会福祉協議会が市と協働で運営しています。それぞれのスタッフが連携しながら、ニーズに応じたサポートをしています。



### 経験豊富なスタッフが活動を後押し!

- **情報収集・発信**  
メイトム宗像ホームページの運営、情報誌ふらぐ(25年度まではメイトムニュース)などの企画編集をしています。
- **市民活動やボランティアの相談窓口**  
団体の立ち上げや、補助金の活用、広報の方法など、活動に関する様々な相談にのっています。
- **ボランティア体験プログラム**  
ボランティアをはじめたい人が、団体の活動を体験できます。
- **V-net**  
ボランティアを求める人と、できる人をつなぎます。

### むなかた市民フォーラムって？

「市民が主体のまちづくり」に向けて活動しています。個人や団体、企業や行政等が協力し自由な発想で活動できるようにコーディネート役を担います。

#### ～活動内容～

- メールマガジン、ホームページなどによる情報発信
- 「市民の力をつなぐ交流会」等の開催
- 市民会議やユリックスカフェ等の企画協力
- 市職員の現場体験研修(宗像市と協働)など

## 川柳コーナー 書き直し こねくり回し 元どおり(文才) 今からは 就活 婚活 市民活動(横広うさぎ)

「ふらぐ」は常時、皆さんからの情報を募集!!【送信先】m-c-forum@mail.707.to「むなかた市民フォーラム情報係」市民活動中のひとコマや、思い出、川柳などをお寄せください。〒住所、氏名(ペンネーム可)、年代、電話番号を明記の上、ご応募ください。

発行/市民活動・NPOボランティアセンター 編集/むなかた市民フォーラム 窓口時間/8:30～17:00  
住所/福岡県宗像市久原180 メイトム宗像 URL/http://kouryuukan.com 休日/第1土曜日  
電話/0940(36)0311 FAX/0940(37)4101 Eメール/meitomu@city.munakata.fukuoka.jp 日曜日、祝日

### Q1 すこやかライフサポーターは進化している、と言われる。という点でしょうか。

「ひと」が育ち、つながっていくかたちになっているところです。キーワードでいえば「参加者からスタッフへ」です。「この活動は子連れでいいし、できることから始められる」「わたしも参加者としてここに来て、いまではスタッフです」「わたしは講師になれるよう、自分たちで練習しています」。ここでは、こんな会話が聞こえてきます。活動が、「母親も輝きたいという内に秘めたおおい」を形にする場となり、「ひと」のつながりを創る場にもなっています。

### Q2 スタッフの育成には、どのように取り組んでいるのですか。

まず、宗像市の「ボランティア体験プログラム(※)」を活用することから始まります。すこやかライフサポーターの講座を、参加者としての視点とは違った角度から見ることになります。その後は、講師のアシスタントや、預かりあいつこ(交流と託児のシステム)での骨密度測定、広報活動など、「できること」「やりたいこと」から入り、自分で役割を見つけて動いています。

※ボランティアを始めたい人が子育て、環境、福祉など24団体の活動を体験できるプログラム

### Q3 そうやって新しいスタッフができて、また新しい活動が広がるということですか。

新しい「ひと」が加わることは、新しい意見や取り組みが生まれることです。活動場所を見直したり、講師を目指すための育成講座を設けたり、宗像市の「人づくりでまちづくり補助金」を活用した事業に挑戦したり。みんなのできることを増やしながらも、参加者の方には「何をしているか」ではなく、「活動を通して自分はどう変わったか」を伝えています。それが人がつながる秘訣です。

この活動に参加することは、「新しいことに取り組む」というのは少し違います。まるで、さなぎから抜け出す蝶のように、みなさんが無理なく成長する様子がうかがえました。



問合せ すこやかライフサポーター E-mail: mama-reborn.terrace@ezweb.ne.jp



## ちょっとお役立ち情報!!

# スキルのある人とつよに 悩みを解決

## 足りない技術や能力を補い、

### 団体の活動をもっと充実させよう!

NPO・ボランティア活動をする団体の中には、「人材」がなくて困っている団体もあれば、「スキル」がなくて困っている団体もあるのではないのでしょうか。

今回は、様々な専門のスキルを持った人たちが、課題解決を「プロボノ」という仕組みでサポートしてくれる「ふくおか かつぎて けいかく」を紹介します。



NPO が自立した運営に取り組めるように、特定非営利活動法人ふくおか NPO センターが実施している「ふくおか かつぎて けいかく」。「かつぎて」とは、企業人・高齢者・学生などさまざまな人たちが、それぞれのチカラ（知識や経験）を持ち寄って NPO を支援する、新しいボランティアのことです。「やりたくてもできない！」NPO と、「できることを活かしてやってみたい！」かつぎてをつないでくれます。

## どんなサポートが受けられるのですか？

### 運営に関する支援

税務・労務・法務・会計ノウハウ提供、  
企画書・提案書・報告書作成ノウハウ提供

### 広報に関する支援

ホームページ作成、パンフレット・チラシ作成、  
ブランディング、マスコミ戦略 など

### 外国語に関する支援

外国語翻訳



## 豆知識 「プロボノ」っていったい何？

プロボノ(Pro bono)とは、各分野の専門家が、職業上持っている知識・スキルや経験を活かして社会貢献するボランティア活動全般。また、それに参加する専門家自身のことを言います。

プロボノはボランティア活動の一形態ですが、社会人が仕事を続けながら、またその仕事を通して培ったスキルやノウハウを提供するということから、参加のハードルが低く、継続しやすいというメリットがあります。また、プロボノ活動を通して幅広い社会参加の機会を得られ、同時に自身のスキルアップも図られるという点から、世界中で社員にプロボノ参加を促す企業が増えています。

日本では、認知度はまだ高いとは言えませんが、社会起業家やソーシャルビジネスへの関心の高まりから、最近、IT・経理・広報・デザインなどの分野で、NPO 等の非営利組織を支援するプロボノ活動が見られるようになってきました。

# 地域 げんき 最前線!

## 農家のおばあちゃんが 1000万円稼ぐ町

四国は徳島の山奥で、農家のおばあちゃんが1000万円を稼ぐという町があることをご存知でしょうか。人と地域特有の資源を活用しビジネスを生み出しているコミュニティビジネスの最前線を走る驚くべき町「徳島県上勝町」取材しました。

### 1 徳島県上勝町

上勝町は、徳島県庁から南西方向に40kmの位置にある四国で一番小さな町。人口は約1900人、高齢化率は49%で町の2人に1人は高齢者という状況。加えて、林業衰退や寒波による農業被害などで危機に陥っていた上勝町。そんな町が、ある取組みをきっかけに元気を取り戻しました。日本全国から注目される町になった背景には、「人」という地域資源を有効に活用した地域ビジネスが存在していました。

### 2 高齢者が主役の「葉っぱビジネス」

日本各地の料亭で出されているつま物。これらを商品化して販売するのが上勝町の主力事業の葉っぱビジネス。葉っぱを集めるのは、地域のおじいちゃん、おばあちゃんです。これまで眠っていた地域の資源が商品となり、町が潤う。高齢者に仕事が生まれました。目からウロコの素晴らしいアイデア。全体の販売額は約2億6千万円。中にはなんと年収1000万円を稼ぐおばあちゃんもいます。

### 3 ビジネスを可能にするしくみ

上勝町が地域ビジネスの最先端と言われる所以はこのしくみにあります。葉っぱビジネスは、農家・農協・(株)いろどりの三者が一体となり運営され、収穫した葉っぱは注文に応じて、生産者である高齢者が毎日出荷します。値付けも農家のおばあちゃん達が自分で行います。農協で収集した販売単価や出荷数量などのデータは(株)いろどりで分析した後、農家へ伝達されます。農家はこのデータをもとに、翌日の採取量や品目の選定をしています。もちろんデータのやりとりにはパソコンは必要不可欠。おばあちゃん達は、驚く程器用にパソコンを扱います。最近では、出荷や受注業務を効率化するためにタブレットを導入。楽しそうにサクサクとタブレットを扱う順応力の高さに驚きを隠しきれませんでした。もちろん、最初から万能に扱えたわけではなく、講習会や勉強会を定期的に関することで使い方を学んでいったそう。とはいえ、あのバイタリティは見習うべきものがあります。

### 4 次なる一手

葉っぱビジネスで成功した上勝町は、順風満帆なイメージがある反面大きな課題も抱えています。それは人口減による後継者不足です。町は、若い人材を町に呼び込むきっかけをつくるために3年前からインターンシップ制度を導入しています。参加費、宿泊費はすべて無料で年間利用者は120人程。この制度をきっかけに1ターン、2ターンしてきた若者により、新たなビジネスが続々と生まれています。その一つが葉っぱを利用したお茶の生産。「いろどり晩茶」は徳島のコンビニやスーパーに並び月平均3000本売れるヒット商品となっています。葉っぱビジネスの生みの親(株)いろどりの社長の横石さん曰く「田舎は宝の山。都会にはない豊かなものがたくさんある」



インターンシップで訪れる学生たち



上勝町のサクセスストーリーは2012年に映画化されました。

## 取材ノート 人生経験豊かな高齢者は地域の宝!

上勝町を訪れて感じたことは、高齢者がとても元気なこと! 農家のおばあちゃんが笑顔で語ってくれた言葉が印象に残ります。「世界中探したってこんな楽しい仕事ないですよ」こんなに楽しそうに仕事をするおばあちゃんを見たのは初めてでした。上勝町を訪れるまで、高齢者=元気がないというイメージを勝手に自分の中に作り上げていました。しかし、この町で元気に活躍する高齢者の方々に触れ、そのイメージは崩れ去りました。これから日本を支えるのは地方です。その地方が活性化する鍵を握るのは、地域の宝であるおじいちゃん、おばあちゃんのかみかもしれません。(立花 祐平)



いろどりの商品

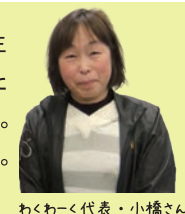
## 活用事例 特定非営利活動法人 わくわーく

### ブランディング (販売・コミュニティスペースの空間デザイン)

北九州市内の福祉事業所の自主製品などの販売による障害者の自立支援と障害者福祉に興味を持っている方や地域の方々が集えるような場づくりを目指しています。自分たちで商品をディスプレイしたり憩いのスペースを作っていました。外の人が入ってきやすい雰囲気作りが難しいという問題を抱えていました。

そこで、2013年5月に「ふくおか かつぎて けいかく」を利用して、空間づくりの経験がある人や学生を募集し、販売スペース・相談スペースをリニューアルしました。

活用して 備品の配置や設置物について、学生らしいなほどと思うアイデアが満載でした。学生たちと一緒に作業を手伝い、素敵な空間に変わりました。おかげで、以前よりいろんな人の出入りが増えました。みなさんも利用してみてください。



わくわーく代表・小橋さん

## 実施内容 専門に学ぶ学生たちとのコラボ実施

1階のコミュニティスペースを実測し、打ち合わせ。「備品の配置」や「設置物」についての提案をもらい、実動へ。

### ● 陳列棚を白色に塗る



清潔で明るいイメージに!!

### ● 廃材でブラインドをつくる!



一工夫でおしゃれな雰囲気に